

目次

- | | |
|------------------------------|------|
| (1) 入学定員設定の考え方及び定員を充足する見込み | P. 2 |
| (2) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果 | P. 5 |
| (3) 養成する人材の社会的要請や人材需要の動向について | P. 5 |

(1) 入学定員設定の考え方及び定員を充足する見込み

ア 入学定員設定の考え方

熊本大学医学部医学科の入学定員の増員に係るこれまでの経過は以下のとおりである。

[平成 21 年度 入学定員：110 名]

平成 19 年度の「緊急医師確保対策」に基づく 5 名の増員及び「経済財政改革の基本方針 2008」に伴う 5 名の増員によって、平成 21 年度から入学定員を 10 名増員した。

[平成 22 年度～平成 31 年度 入学定員：115 名]

「経済財政改革の基本方針 2009」により、熊本県医師修学資金（地域枠）の給付を条件とした推薦入試（地域枠）を新設し、5 名増とした。

[令和 2 年度～令和 6 年度 入学定員：110 名]

平成 31 年度までに認可を受けた臨時的な定員数 10 名から 2 年間を通じて地域枠の学生を確保できていない定員数 4 名を減じた数 6 名を上限として増員申請数を熊本県と協議し、令和 3 年度までの期限を付した再度の入学定員 5 名増を行い、令和 6 年度まで継続した。

[令和 7 年度 入学定員：109 名]

次いで、今回、熊本県から、上記のような状況を踏まえ、本学に対して地域医療に従事する医療人育成及びその増員の延長について要望があったため、令和 2 年度からの増加と同様の枠組みを維持し、令和 7 年度については 4 名の増員を設定した。

イ 定員を充足する見込み

A. 学生確保の見通しの調査結果

本学医学部医学科の志願倍率は、以下の図 1 に示すとおり、平成 22 年度から令和 6 年度まで、常に 3.5 倍以上を維持している。一般選抜に面接試験を導入した平成 26 年度以降は、志願者数が減少傾向にあるものの、長期的かつ安定的に入学定員を上回る入学希望者が存在することが推測できる。



図 1 熊本大学医学部医学科の志願倍率の推移（平成 22 年度～令和 6 年度の実績値）

次に、以下の表1に示すように、地域枠受験者の中で、大学入学共通テストの難化により、合格判定基準を満たさず合格者が少なかった令和4年度入試を除き、入学者数も定員を充足しており、熊本県内出身者は30～40%を占めている（地域枠入学者含む）。

また、表2に示すように、過去10年（平成27年度～令和6年度）の地域枠の志願者は、常に募集人員を超える人数を維持している。なお、令和4年度の志願者数及び入学者数は大学入学共通テストの難化が大きく影響しており、また、合格判定基準を満たさず合格者が極端に少なかった状況を踏まえ、合否判定基準の見直しを行っている。

以上のことを踏まえ、臨時定員の増員後においても、十分に入学定員を充足できると考えている。

表1 熊本大学医学部医学科 志願者・入学者状況

区分	入学定員	全体		熊本県内			九州内（熊本県を除く）			九州外		
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	入学者の割合	志願者数	入学者数	入学者の割合	志願者数	入学者数	入学者の割合
平成22年度	115	871	116	272	45	39%	349	55	47%	250	16	14%
平成23年度	115	923	116	290	52	45%	354	44	38%	279	20	17%
平成24年度	115	1,133	116	292	42	36%	415	35	30%	426	39	34%
平成25年度	115	868	116	210	40	34%	352	56	48%	306	20	18%
平成26年度	115	609	116	141	26	22%	270	54	47%	198	36	31%
平成27年度	115	770	115	149	31	27%	299	54	47%	322	30	26%
平成28年度	115	411	115	107	36	31%	151	52	45%	153	27	24%
平成29年度	115	599	116	132	42	36%	184	37	32%	283	37	32%
平成30年度	115	410	115	116	40	35%	147	46	40%	147	29	25%
平成31年度	115	620	116	129	45	39%	209	50	43%	282	21	18%
令和2年度	110	574	110	123	41	37%	206	54	49%	245	15	14%
令和3年度	110	388	110	125	51	46%	151	45	41%	112	14	13%
令和4年度	110	481	108	126	39	36%	166	55	51%	189	14	13%
令和5年度	110	432	110	135	43	39%	163	47	43%	134	20	18%
令和6年度	110	476	112	125	35	31%	162	54	48%	189	23	21%

表2 熊本大学医学部医学科 地域枠志願者・入学者状況

年度	入学定員	(内訳)			地域枠			
		一般入試	推薦入試		志願者数	志願倍率	入学者数	定員充足率 (%)
			一般枠等	地域枠				
平成27年度	115	95	15	5	10	2.0	5	100.0%
平成28年度	115	95	15	5	11	2.2	5	100.0%
平成29年度	115	95	15	5	13	2.6	5	100.0%
平成30年度	115	95	15	5	18	3.6	5	100.0%
平成31年度	115	95	15	5	15	3.0	5	100.0%
令和2年度	110	90	15	5	14	2.8	5	100.0%
令和3年度	110	90	15	5	10	2.0	5	100.0%
令和4年度	110	87	15 [※]	8	8	1.0	1	12.5%
令和5年度	110	87	15 [※]	8	18	2.3	8	100.0%
令和6年度	110	87	15 [※]	8	12	1.5	7	87.5%

※みらい医療枠10名を含む。

B. 中長期的な18歳人口の全国的・地域的動向等

18歳人口（男女別）の将来推計【資料1】において、18歳人口の減少が進み、2035年には初めて100万人を割って約96万人となり、さらに2040年には約82万人にまで減少するという推計が示されており、熊本県における18歳人口についても、以下の表3のとおり近年減少傾向にある。

表3 熊本県18歳人口推移

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	グラフ
熊本県 18歳人口数	17,403	17,235	17,014	16,628	15,977	16,164	16,269	15,469	

（出典：熊本県HPの「熊本県の人口と世帯数」を基に作成）

また、大学入学者数等の将来推計について【資料2】、2040年の大学入学者数は510,110人と推計され、2022年度の大学入学定員の総数626,532人に比べ約8割になるとされている。

しかしながら、18歳人口が減少傾向にあるところ、上記図1で示したとおり、本学の医学部医学科の志願倍率は、常に3.5倍以上を維持している。

あわせて、九州外からの志願者が他学部は10%程度であるのに対し、以下の表4のとおり医学部医学科では30~40%程度を占めており、九州外からも十分な志願者を得られる見込みである。

表4 熊本大学医学部医学科 熊本県、九州内、九州外志願者状況

区分	入学定員	全体	熊本県内		九州内 (熊本県を除く)		九州外	
		志願者数	志願者数		志願者数		志願者数	
			全体に占める割合	全体に占める割合	全体に占める割合	全体に占める割合		
平成22年度	115	871	272	31%	349	40%	250	29%
平成23年度	115	923	290	31%	354	38%	279	30%
平成24年度	115	1,133	292	26%	415	37%	426	38%
平成25年度	115	868	210	24%	352	41%	306	35%
平成26年度	115	609	141	23%	270	44%	198	33%
平成27年度	115	770	149	19%	299	39%	322	42%
平成28年度	115	411	107	26%	151	37%	153	37%
平成29年度	115	599	132	22%	184	31%	283	47%
平成30年度	115	410	116	28%	147	36%	147	36%
平成31年度	115	620	129	21%	209	34%	282	45%
令和2年度	110	574	123	21%	206	36%	245	43%
令和3年度	110	388	125	32%	151	39%	112	29%
令和4年度	110	481	126	26%	166	35%	189	39%
令和5年度	110	432	135	31%	163	38%	134	31%
令和6年度	110	476	125	26%	162	34%	189	40%

以上のことから、今後18歳人口は減少することが予想されるが、これまでの志願倍率や他の地域からの志願状況を踏まえると、今後も十分な志願者数を確保できると考えている。

C. 同分野を有する競合校の状況

令和5年度医学部医学科の入学状況【資料3】において、国立大学全体の実質競争倍率は3.31倍であり、全国的な医学部医学科の需要が確認できる。

本学においても実質競争倍率は3.59倍であり、全国の大学と変わらず、定員を充足できると考えている。

D. 既設学部の新入生確保の状況

適切な定員管理を行いながら、既存学部において、常に100%以上の入学定員充足状況であることから、医学部医学科においても、既存学部と変わらず、定員を充足できると考えている。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

1) オープンキャンパス

毎年8月に、全学をあげてオープンキャンパスを開催している。医学部医学科では、学部長の挨拶に続いて、本医学科の歴史、特徴やカリキュラムの紹介、アドミッションポリシーを含め入試等に係る説明を行った後、施設見学・実習体験等を実施し、医学に対する関心に対応している。

また、オープンキャンパスに参加する受験生や保護者等を対象に入試制度等の説明を行うほか、熊本県医療政策課による熊本県医師修学資金の説明の時間を設け、より広く制度の周知を行っている。

2) ガイダンス

新入生ガイダンス、在学生ガイダンス等でも同様に熊本県医師修学資金に関する説明の時間を設け、広報活動を行っている。

3) 高校訪問、キャリアセミナー

医学科への進学実績がある高等学校を訪問し、本学科の特徴やカリキュラムの魅力、地域枠を含めた入試制度の説明会を行っている。

また、令和6年度から中学校からの求めに応じ生徒を本学へ招いて、医学科キャリアセミナーを開催している。本学科の歴史や魅力、地域枠を含めた入試制度の説明、模擬授業の実施、現役医学科生の進学体験談等を通して、医師という職業の素晴らしさを知ってもらい、中長期的な学生確保に向けて取り組んでいる。

4) その他

県内高等学校長との懇談会、県内高等学校進路指導連絡協議会との懇談会、九州地区国立大学・高等学校連絡協議会及び各種進学説明会等のあらゆる機会を通じて、熊本県医師修学資金及び地域枠に関する広報活動を行っている。

(3) 養成する人材の社会的要請や人材需要の動向について

熊本県から、本学に対して地域医療に従事する医療人育成及びその増員の延長について要望があったため、平成31年度に認可を受けた臨時的な定員数5名を上限として増員申請

数を熊本県と協議し、4名分の増員を行うこととした。

熊本県の状況として、熊本県の医療施設に従事する医師数（令和2年：5,162人）については、その6割が熊本市に集中している。平成22年から令和2年の間に、人口10万人当たりの医師数が熊本市内は49.7人増加したのに対し、熊本市外は24.5人と、同程度に増加しているものの、未だ医師の地域偏在は大きい状況である。

また、熊本県の地域医療における将来推計として、2036年に向けて、県全体では人口は減少傾向にあるものの、医療需要は増加傾向にあり、厚生労働省の計算によると、将来時点において、複数の圏域で医師が不足する可能性がある。

そのため、定員増暫定措置の延長による地域卒学生の確保が必要となっており、今回の定員増は社会的な人材需要に即したものである。

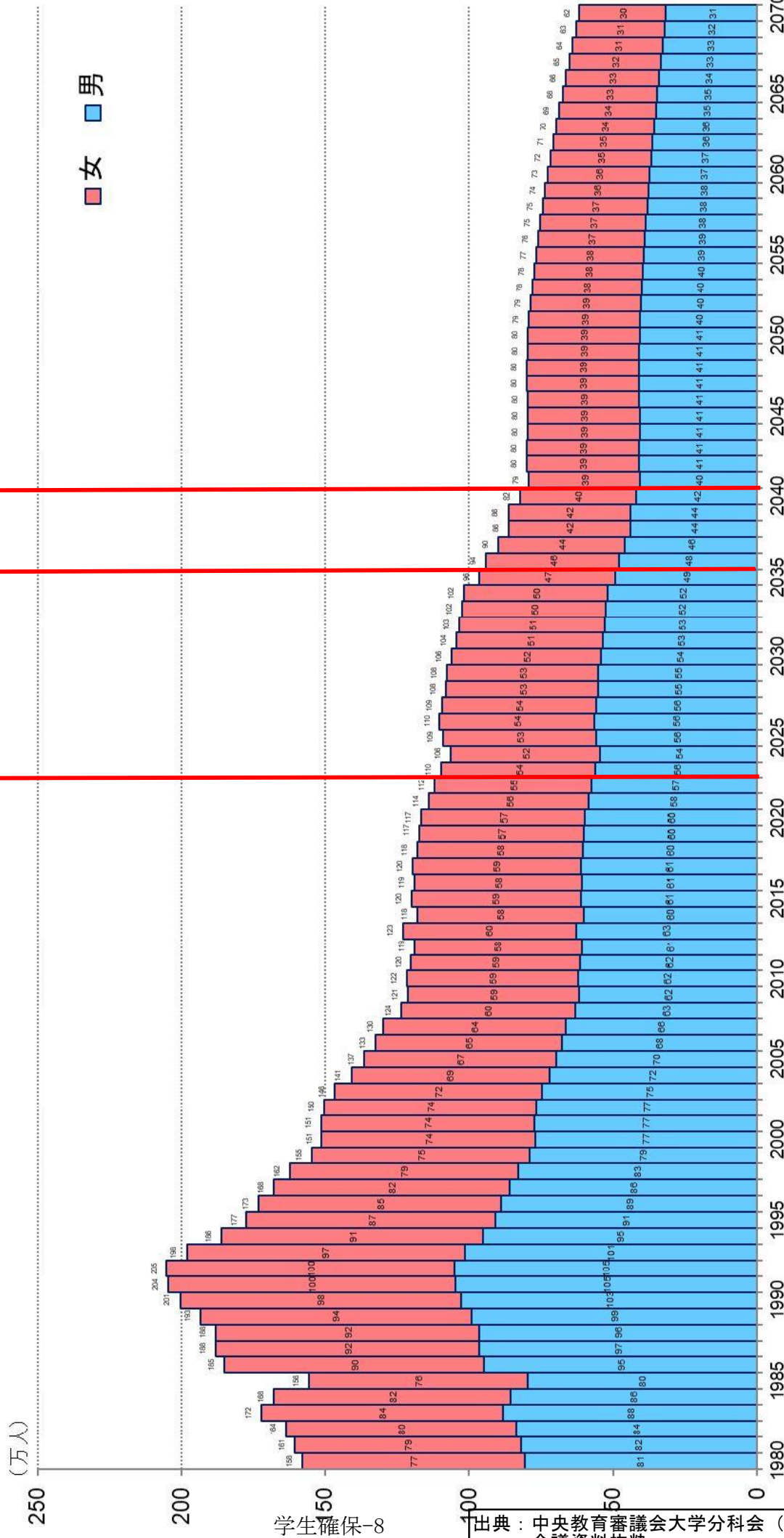
資料目次

資料 1	18歳人口（男女別）の将来推計	P. 8
資料 2	大学入学者数等の将来推計について【推計の考え方】	P. 9
資料 3	令和5年度 医学部医学科入学状況	P. 11

18歳人口(男女別)の将来推計

我が国の18歳人口の推移を見ると、2005年には約137万人であったものが、現在(約112万人)まで減少している。今後、2035年には初めて100万人を割って約96万人となり、さらに2040年には約82万人にまで減少するという推計もある。

2022年 2035年 2040年



(出典) 2022年以前は文部科学省「学校基本統計」、2023年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)(出生中位・死亡中位)」を元に作成

大学入学者数等の将来推計について【推計の考え方】

推計の考え方

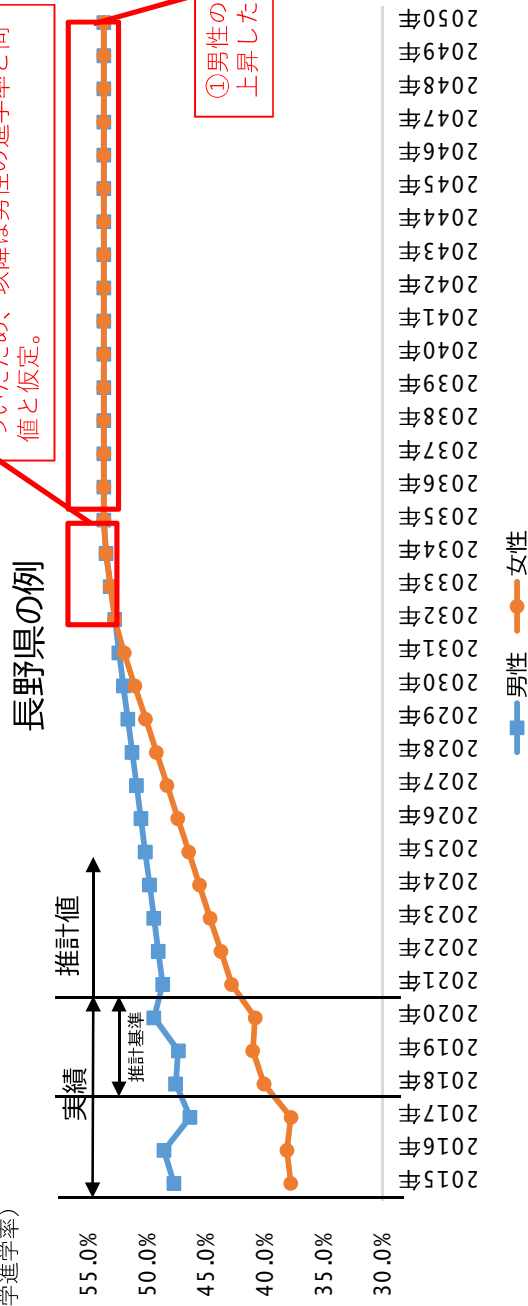
将来の大学入学者数(E)は、推計18歳人口(B)に推計大学進学率(A)を掛けて算出される各都道府県からの大学進学者数(C)に、外国人留学生(D)等を足すことにより求められる。

A.大学進学率の推計について

- 2018年度～2021年度における都道府県別、男女別の大学進学率の伸び率によって今後2050年まで大学進学率が上昇すると仮定して都道府県別に推計。
(例外)

- ① 男性の進学率が2021年度と比較して5pt以上上回った場合、+5ptを上限として以降据置き。
- ② 女性の進学率が男性の進学率を上回った場合、以降を男性の進学率と同値と仮定。
- ③ 進学率伸び率がマイナスの場合、2021年度の大学進学率が今後維持されると仮定。

(大学進学率)



B.18歳人口の推計について

- 2040年から2050年までの18歳人口について以下の推計方法により都道府県別に18歳人口を推計。

2040年以降の日本の将来推計18歳人口（国立社会保障・人口問題研究所の推計）を2039年の都道府県比率で案分（2020年度中の出生者数に各都道府県の生存率を乗算することにより、大学等に入学することが想定される2039年4月時点の18歳人口の都道府県比率を算出）

年	2040	2041	2042	2043	2044	2045	2046	2047	2048	2049	2050
推計18歳人口 (全国)	823,382	793,715	800,949	801,455	797,757	797,466	799,003	800,105	800,267	799,364	797,223

C.各都道府県からの大学進学者数

- 各都道府県の推計18歳人口 (B) に各都道府県の大学進学率 (A) を掛けたものを合計することにより算出。

D.外国人留学生の入学者数の推計について

- 2020年度～2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により外国人留学生数が一時的に激減したことを踏まえ、2019年度の外国人留学生数が維持されると推定。

E.大学入学者数の推計について

- 各推計値に基づく (B) × (A) による都道府県別の大学進学者数の合計 (C) に (D) 及びその他を足したものが2040年以降の大学入学者数の推計値となる。

※その他は高等学校卒業程度認定試験合格者・専修学校高等課程修了者で大学に進学した者

【(例) 2040年の大学入学者数推計】

(B.18歳人口推計)

北海道18歳人口 (男性) 14,602人 × 北海道進学率 (男性) 56.9% = 8,307人
 北海道18歳人口 (女性) 13,898人 × 北海道進学率 (女性) 56.9% = 7,906人
 青森県 ……
 ……

(A.大学進学率推計)

北海道進学率 (男性) 56.9% = 8,307人 } 北海道進学者数 16,213人
 …… }
 …… }
 沖縄県18歳人口 (男性) 7,507人 × 沖縄県進学率 (男性) 47.5% = 3,565人 } 沖縄県進学者数 6,952人
 沖縄県18歳人口 (女性) 7,134人 × 沖縄県進学率 (女性) 47.5% = 3,388人 }
 …… }
 …… } (その他)

大学進学率 (全国) 59.6%
 (男性) 61.2% (女性) 57.9%

(C.2040年の各都道府県からの大学進学者数)

490,781人

(E.2040年の推計大学入学者数)

510,110人

=

2,233人

+ 17,096人

+ 490,781人

(D.2040年の推計外国人留学生入学者数)

(その他)

※四捨五入の関係上、四則演算の値と記載の数値は必ずしも一致しない

(注) グランドデザイン答申時の推計について

881,782人 (推計18歳人口) × 55.5% (大学進学率) (※) + 16,724人 (外国人留学生等) = 506,005人

(※) GD答申時は外国人留学生も含めて進学率を57.4%としていたが、18歳人口推計値に訪日予定の外国人等は含まれていないため上記の記載としている。

大学入学定員の総数
626,532人 (R4)

令和5年度 医学部医学科入学状況

【国立大学】

大学名	一般選抜、総合選抜、特別選抜等							編入学			
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	実質競争倍率	入学定員充足率	募集人員	志願者数	入学者数	
1	北海道大学	*90	308	288	90	90	3.20	100.0%	5	103	5
2	旭川医科大学	95	968	349	98	95	3.56	100.0%	10	147	3
3	弘前大学	112	585	499	113	112	4.42	100.0%	20	209	20
4	東北大学	116	503	409	124	122	3.30	105.2%	0	0	0
5	秋田大学	124	872	398	127	124	3.13	100.0%	5	127	5
6	山形大学	113	829	605	120	113	5.04	100.0%	0	0	0
7	筑波大学	*134	510	473	131	128	3.61	95.5%	5	103	6
8	群馬大学	108	397	290	113	108	2.57	100.0%	15	222	15
9	千葉大学	117	752	349	126	119	2.77	101.7%	0	0	0
10	東京大学(理科Ⅲ類)	*100	436	300	101	101	2.97	101.0%	0	0	0
11	東京医科歯科大学	102	607	359	107	96	3.36	94.1%	5	55	5
12	新潟大学	140	542	460	149	140	3.09	100.0%	0	0	0
13	富山大学	105	500	350	110	106	3.18	101.0%	5	206	5
14	金沢大学	*111	338	254	116	115	2.19	103.6%	5	47	5
15	福井大学	110	625	310	115	110	2.70	100.0%	5	224	5
16	山梨大学	125	1,402	394	138	125	2.86	100.0%	0	0	0
17	信州大学	120	448	375	125	120	3.00	100.0%	0	0	0
18	岐阜大学	110	702	540	112	110	4.82	100.0%	0	0	0
19	浜松医科大学	115	883	399	122	118	3.27	102.6%	5	93	5
20	名古屋大学	107	361	265	111	109	2.39	101.9%	4	53	4
21	三重大学	125	705	425	128	125	3.32	100.0%	15	333	15
22	滋賀医科大学	95	342	317	97	95	3.27	100.0%	15	333	15
23	京都大学	107	296	264	110	110	2.40	102.8%	0	0	0
24	大阪大学	97	265	244	99	99	2.46	102.1%	10	100	9
25	神戸大学	112	366	272	114	112	2.39	100.0%	5	86	5
26	鳥取大学	105	512	445	105	105	4.24	100.0%	5	50	5
27	島根大学	102	779	545	102	102	5.34	100.0%	10	80	10
28	岡山大学	109	349	326	112	109	2.91	100.0%	5	49	5
29	広島大学	118	505	463	120	118	3.86	100.0%	0	0	0
30	山口大学	109	743	453	110	109	4.12	100.0%	10	264	10
31	徳島大学	112	324	245	114	112	2.15	100.0%	0	0	0
32	香川大学	109	392	357	109	109	3.28	100.0%	5	89	5
33	愛媛大学	110	409	370	110	110	3.36	100.0%	5	80	5
34	高知大学	110	596	596	112	110	5.32	100.0%	5	42	5
35	九州大学	105	275	247	108	108	2.29	102.9%	0	0	0
36	佐賀大学	103	583	360	106	103	3.40	100.0%	0	0	0
37	長崎大学	115	394	343	116	115	2.96	100.0%	5	157	5
38	熊本大学	110	432	409	114	110	3.59	100.0%	0	0	0
39	大分大学	100	559	236	102	100	2.31	100.0%	10	257	8
40	宮崎大学	100	1,255	377	104	100	3.63	100.0%	0	0	0
41	鹿児島大学	110	696	379	113	110	3.35	100.0%	10	242	10
42	琉球大学	112	1,148	427	115	112	3.71	100.0%	5	150	5
国立大学 計		4,629	24,493	15,766	4,768	4,644	3.31	100.3%	209	3,901	200

※北海道大学は、医学部医学科の募集人員（総合入試入学者のうち10名が2年次進級時に医学科へ移行）を記載。

※筑波大学は、医学群医学類の募集人員（総合入試入学者のうち5名が2年次進級時に医学類へ移行）を記載。

※東京大学は、理科Ⅲ類の募集人員（3年次進級時に理科Ⅲ類から97名、理科Ⅱ類から10名、その他の全科類から3名が医学科へ移行）を記載。

※金沢大学は、医学類の募集人員（理系後期一括入試入学者のうち1名が2年次進級時に医学類へ移行）を記載。